社会資本総合整備計画

令和3年3月9日

計画の名称	24　県南地域の産業を支えるインターチェンジや港湾・駅へのアクセス道路の整備			重点配分対象の該当	
計画の期間	平成25年度～平成29年度　（5年間）	交付対象	福岡県		

計画の目標

県南地域の経済・産業の更なる発展を支援することを目的に、その重要な役割を担う三池港などの物流拠点を更に活用するため、九州自動車道や地域高規格道路である有明海沿岸道路と連携したアクセス道路を整備し機能向上を図る。加えて、九州新幹線を活用し、観光客などの人の流れを活性化し、県南地域の活性化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

工業団地、新幹線駅等からインターチェンジまでの所要時間短縮

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H24末）	中間目標値（H27末）	最終目標値（H29末）	備考
Σ（整備後の工業団地、新幹線駅等からインターチェンジまでの所要時間）－Σ（整備前の工業団地、新幹線駅等からインターチェンジまでの所要時間）	－	-9.5分	-17.8分	八女市定住自共生ビジョンに基づき実施される要素事業:A2,3 久留米広域連携中枢都市圏ビジョンに基づき実施される要素事業： A1,6,12,13,17,18,19,20,21,22,23,24,25,28 有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A1,4,5,7,9,10,13,14,15,26,27,28,29

全体事業費	合計（A＋B＋C＋D）	13,546百万円	A	13,546百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	C／（A＋B＋C＋D）	0%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

県の事業担当課により評価を実施

事後評価の実施時期

計画期間終了後（令和3年3月）

公表の方法

インターネット

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H25	H26	H27	H28	H29	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
24-A1	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）385号・三橋大川バイパス	バイパス　L=3.9km	柳川市　大川市	■	■	■			700			
24-A2	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）442号・黒木バイパス	バイパス　L=2.1km	八女市	■	■	■	■		336			
24-A3	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）442号・八女筑後バイパス（4車化）	バイパス　L=2.0km	八女市	■	■				165			
24-A4	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）443号・山川バイパス	バイパス　L=4.4km	みやま市	■	■				800			
24-A5	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田川副線・沖端川工区	バイパス　L=1.33km	柳川市	■	■	■	■	■	3,353			
24-A6	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米柳川線・大木町工区	現道拡幅　L=0.82km	大木町	■	■	■			391			
24-A7	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米柳川線・柳川市工区	現道拡幅　L=0.96km	柳川市	■	■	■			204			
24-A8	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）瀬高久留米線・富久橋	現道拡幅　L=0.7km	筑後市	■					18			
24-A9	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田高田線・岩本２工区	バイパス　L=0.81km	大牟田市	■	■	■	■	■	396			
24-A10	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田高田線・茶屋原１工区	バイパス　L=2.5km	大牟田市	■	■				649			
24-A11	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（一）柳川筑後線・筑後市工区	バイパス　L=3.1km	筑後市	■	■	■			989			
24-A12	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（一）鐘ヶ江酒見間線・大橋工区	バイパス　L=0.48km	大川市	■	■	■		■	867			
24-A13	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（一）鐘ヶ江酒見間線・三丸２工区	現道拡幅　L=1.1km	大川市　柳川市	■					192			
24-A14	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	(国)443号・三橋瀬高バイパス(金栗4車線化)	バイパス　L=0.9km	みやま市	■	■	■			438			
24-A15	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田川副線・永田開２工区	バイパス　L=1.08km	柳川市			■	■	■	389			
24-A16	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）瀬高久留米線・下妻工区	バイパス　L=1.7km	筑後市		■	■	■	■	327			
24-A17	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米筑紫野線・小郡市Ⅰ期工区	現道拡幅　L=0.78km	小郡市			■			109			
24-A18	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米筑紫野線・小郡市Ⅱ期工区	現道拡幅　L=1.96km	小郡市			■			55			
24-A19	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米筑紫野線・北野大刀洗工区	バイパス　L=4.75km	久留米市			■			65			
24-A20	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）322号・第2大刀洗バイパス	バイパス・現道拡幅　L=2.6km	大刀洗町			■	■		68			

24-A21	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米筑紫野線・久留米市工区	バイパス　L=1.61km	久留米市						310			
24-A22	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田川副線・大野島工区	バイパス　L=0.50km	大川市						10			
24-A23	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）久留米柳川線・久留米市工区	バイパス　L=2.00km	久留米市						1,215			
24-A24	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（一）甘木朝倉田主丸線・鷹取工区	現道拡幅　L=0.40km	久留米市、うきは市						170			
24-A25	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）264号・豆津バイパス	バイパス　L=1.07km	久留米市						100			
24-A26	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）443号・三橋瀬高バイパス(4車線化)	バイパス　L=1.80km	柳川市、みやま市						480			
24-A27	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（国）443号・柳川バイパス	バイパス　L=1.80km	柳川市						250	1.06		
24-A28	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）大牟田川副線・柳川大川工区	バイパス　L=4.26km	柳川市、大川市						250	1.99		
24-A29	道路	一般	福岡県	直接	福岡県	（主）南関大牟田北線・上内工区	バイパス　L=3.20km	大牟田市						250	1.10		
											合計			13,546			

B　関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H25	H26	H27	H28	H29	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											合計			0			

C　効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H25	H26	H27	H28	H29	全体事業費（百万円）	備考
											合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H25	H26	H27	H28	H29	全体事業費（百万円）	備考
											合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ　定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	バイパス整備や現道拡幅等を行った結果、交通の円滑化が図られ、工業団地、新幹線駅等から九州縦貫自動車道へのアクセス強化に寄与した。 ・バイパス事業は、新たな最短ルートが構築されたこと、またはバイパスに交通量が転換し、走行ルートの交通負荷が軽減したことにより走行ルートの速度向上が図られ、所要時間が短縮した。 ・拡幅事業は、当該事業の現道（走行ルート）の交通容量の拡大に伴い現道（走行ルート）の速度が向上、または交通容量が拡大した当該事業に交通量が転換し、走行ルートの交通負荷が軽減したことにより走行ルートの速度向上が図られ、所要時間が短縮した。

Ⅱ　定量的指標の達成状況	工業団地、新幹線駅等からインターチェンジまでの所要時間短縮	最終目標値	-17.8分	目標値と実績値に差が出た要因	・用地取得の困難等による整備進捗の遅れが発生したことなどにより、目標を下回る結果となった。
		最終実績値	-10.5分		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ　定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					

３．特記事項（今後の方針等）

・整備計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し効果発現を目指す。